



温室効果ガス排出量 検証報告書

2020年7月31日

カゴメ 株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会
地球温暖化対策センター



1. 検証の対象及び目的

カゴメ株式会社（以下「事業者」という。）が作成した事業所^{※1}（以下「算定対象」という。項目3参照）における排出量算定結果「2019年度 CO2 排出量算定報告書」、「Calculation report 2019」及び「カゴメグループのスコープ3 算定報告書（2019年度）」（以下「算定報告書」という。）に記載の2019年（2019年1月1日から2019年12月31日まで）の以下の温室効果ガス排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ1 温室効果ガス排出量

算定対象において事業者が使用したエネルギーの使用に伴って排出されるCO2 排出量

2) スコープ2 温室効果ガス排出量

算定対象において使用した電力の使用に伴って排出されるCO2 排出量

3) スコープ3 温室効果ガス排出量

算定対象の事業活動におけるスコープ3 カテゴリー1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 12, 13^{※2}において排出されるCO2 排出量

検証の目的は、算定方法に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成しCO2 排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載されたCO2 排出量情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3 :2006 (Greenhouse gases-Part 3: Specification with guidance for the validation and verification of greenhouse gas assertions)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載のCO2 排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- CO2 排出量の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定報告書に記載された2019年の温室効果ガス排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

※1 算定対象	検証された温室効果ガス排出量	
	スコープ1	スコープ2
那須工場	8,762 t-CO2	6,967 t-CO2
富士見工場	3,749 t-CO2	3,582 t-CO2
小牧工場	2,422 t-CO2	4,767 t-CO2
茨城工場	2,314 t-CO2	3,672 t-CO2
小坂井工場	1,833 t-CO2	2,156 t-CO2
上野工場	932 t-CO2	650 t-CO2
Industria de Transformacao de Produtos Alimentares,S.A.	15,496 t-CO2	3,177 t-CO2
Fomento da Industria do Tomate, S.A.	10,754 t-CO2	2,006 t-CO2
Kagome Australia Pty Ltd.	16,967 t-CO2	8,969 t-CO2
Kagome Inc.	2,541 t-CO2	411 t-CO2
Kagome Foods, Inc.	3,051 t-CO2	5,176 t-CO2
Vegitalia S.p.A	815 t-CO2	1,219 t-CO2
Taiwan Kagome Co., Ltd.	555 t-CO2	1,322 t-CO2
	スコープ3	
カゴメ(株)及び国内グループ企業(響灘菜園(株)、いわき小名浜菜園(株)、世羅菜園(株)、(株)八ヶ岳みらい菜園、カゴメアクシス(株))	カテゴリー1	824,245 t-CO2
同上	カテゴリー2	17,753 t-CO2
同上	カテゴリー3	12,531 t-CO2
同上	カテゴリー4	51,586 t-CO2
同上※3	カテゴリー5	2,018 t-CO2
同上	カテゴリー6	228 t-CO2
同上	カテゴリー7	781 t-CO2
同上	カテゴリー8	990 t-CO2
同上	カテゴリー9	20,167 t-CO2
同上	カテゴリー10	11,321 t-CO2
同上	カテゴリー12	12,538 t-CO2
同上	カテゴリー13	1,459 t-CO2

NOTE:

※2：スコープ3のカテゴリー1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 12, 13

○ カテゴリー1(購入した製品・サービス)：主な製品の原料及び容器包装を対象

- カテゴリー2（資本財）：有形固定資産を対象
- カテゴリー3（スコープ1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動）：対象事業所で使用した燃料（ガソリン、灯油、軽油、A重油、LPG、LNG、都市ガス）、電力を対象
- カテゴリー4（輸送、配送（上流））：海外・国内陸上輸送、海上輸送を対象
- カテゴリー5（事業から出る廃棄物）：対象事業所の事業活動から出る産業廃棄物を対象
- カテゴリー6（出張）：対象事業所の従業員を対象
- カテゴリー7（雇用者の通勤）：対象事業所の従業員を対象
- カテゴリー8（リース資産（上流））：リース車両を対象
- カテゴリー9（輸送、配送（下流））：流通者物流拠点から店舗までの陸上輸送を対象
- カテゴリー10（販売した製品の加工）：業務用製品の調理加工を対象
- カテゴリー12（販売した製品の廃棄）：梱包資材（廃プラスチック、紙くず、金属くず）を対象
- カテゴリー13（リース資産（下流））：土地・建物等のリース物件を対象

※3：スコープ3 カテゴリー5のみカゴメ(株)の支店・支社およびカゴメアクシス(株)は除く